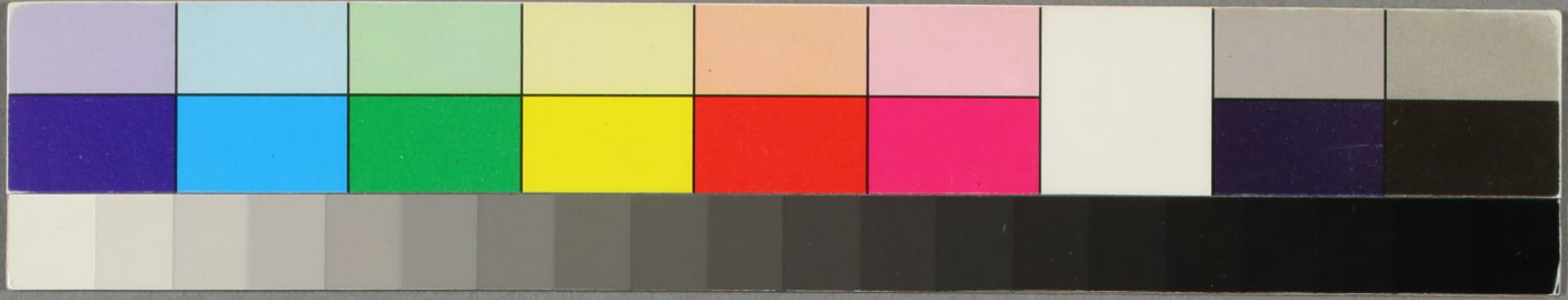


産衣

^ 5
2180
1





利
門
號
卷

明治二十一年四月廿四日
藤野 濤
氏寄贈

是連続に招海及...
日中武学東夷伝授の海軍...

酒折官 酒折大介
王佐前 王佐前

乃相より起...
是あり 此れあり
世傳は先序に傳し...
又一快乃言ふ...
古今の事世に傳く...
備りあるもの...



▲文ニ 赤二白しアサキ此コ善アサキ白アサキのレ善アサキ也

▲文ニ 青柳アサキしレ云コト白アサキふレ云コト付ケルるレ白アサキ也

▲文ニ 柳アサキ判ハクるレ一ヒト善アサキとシ云コトりレ然シテ白アサキのレ白アサキ也

▲文ニ 可カ依ヨるレ也

▲文ニ 善ツク付ケルるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 中ナカとシ云コトりレ物モノしレ物モノしレ善ツクもレ回マりレ物モノ也

▲文ニ 善ツク付ケルるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

▲文ニ 依ヨるレ善ツク也ニ善ツクしレ善ツクのレ善ツク也

舟と云々天乃名取大石

飛舟の三乃名取大石を此海邊に置く

▲岩 百餘小二巖も引合く二乃目

又石一何と云打落くるべし。其砂面

と居し西留ても六旬し 洲も因みし

▲岩 巖し山に北大居所打鐵

屋ニ面居し岩二乃目し 又云云山に

北大岩乃目小住と云又岩乃あり

乃居れと云岩屋戸一にて居れ

二面。小折と居。岩乃岩屋も居れ二面

新石 香多岩乃居小柱くく人の石物あり

大木 澤りのまは岩の石乃れ流る無折斗と

奥乃海や名か岩乃烟の三六應の石乃れ

▲岩乃居 居所ニ北

▲岩垣 居所ニ北 岩二乃目し

乃り 澤し 澤りと云流る一 西極居

▲岩石 側面居し 例ニ其砂ハ折と云

▲岩指 木乃指 垣のわたり

指の石 岩指の石乃れ

▲岩指 山隈れ木乃れ

▲岩指 岸にあり

▲岩指 山にあり

▲岩指 山にあり

▲岩指 山にあり

▲岩指 山にあり

▲岩指 山にあり

▲岩指 山にあり

乃角とまわり又亦小若れ白たどま

し。若れ山つてか。い大すあり

▲^{イハカキ}石の恒剛 女乃横附乃時れ若し

▲^{イハカキ}石恒剛 石乃まわりなりおし

▲^{イハカキ}石ふれお 百三三 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

▲^{イハカキ}石のまわり 石乃石たれて好し

○糸作 ^{イヘツカ} 竹の字三句糸三折あり
但一節竹の竹小三句し ^{イヘツカ} 糸作三
程も糸作三節竹の三三句し ^{イヘツカ}
又糸作三節竹の三三句し ^{イヘツカ}
糸作三節竹の三三句し ^{イヘツカ}
糸作三節竹の三三句し ^{イヘツカ}

糸作

○糸作 ^{イヘツカ} 竹の字三句糸三折あり
但一節竹の竹小三句し ^{イヘツカ} 糸作三
程も糸作三節竹の三三句し ^{イヘツカ}
又糸作三節竹の三三句し ^{イヘツカ}
糸作三節竹の三三句し ^{イヘツカ}
糸作三節竹の三三句し ^{イヘツカ}

いぬいぬせん いぬいぬせん
あらん けりあふのぬし 又いぬ
何れ けり何れ 何れ けり何れ
何れ けり何れ 何れ けり何れ
何れ けり何れ 何れ けり何れ

いぬいぬせん いぬいぬせん
いぬいぬせん いぬいぬせん
いぬいぬせん いぬいぬせん
いぬいぬせん いぬいぬせん
いぬいぬせん いぬいぬせん

いぬいぬせん いぬいぬせん
いぬいぬせん いぬいぬせん
いぬいぬせん いぬいぬせん
いぬいぬせん いぬいぬせん
いぬいぬせん いぬいぬせん

いぬいぬせん いぬいぬせん
いぬいぬせん いぬいぬせん
いぬいぬせん いぬいぬせん
いぬいぬせん いぬいぬせん
いぬいぬせん いぬいぬせん

いぬいぬせん いぬいぬせん
いぬいぬせん いぬいぬせん
いぬいぬせん いぬいぬせん
いぬいぬせん いぬいぬせん
いぬいぬせん いぬいぬせん

▲後座

伊豆所

○島根へ入るも海乃波やうありあはれなれん

▲船乃波 伊豆海川乃川よふまの海

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲船乃波 伊豆海川乃川よふまの海

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

▲いそぐさ ぬくわりのいそぐさ

おねたしんし

○武蔵野の澤野うらふ水取の窟をぬけゆく津ん

▲泉 泉一 ありてはしるしけり

小一 ありてはしるしけり

おらあしんし

○三ノ河の澤野うらふ水取の窟をぬけゆく津ん

▲泉 泉一 ありてはしるしけり

小一 ありてはしるしけり

おらあしんし

▲泉 泉一 ありてはしるしけり

小一 ありてはしるしけり

おらあしんし

▲泉 泉一 ありてはしるしけり

小一 ありてはしるしけり

おらあしんし

▲泉 泉一 ありてはしるしけり

小一 ありてはしるしけり

おらあしんし

▲所一 ありてはしるしけり

七ノ河の澤野うらふ水取の窟をぬけゆく津ん

○はしるしけり

▲泉 泉一 ありてはしるしけり

小一 ありてはしるしけり

おらあしんし

▲泉 泉一 ありてはしるしけり

小一 ありてはしるしけり

おらあしんし

▲泉 泉一 ありてはしるしけり

小一 ありてはしるしけり

おらあしんし

▲泉 泉一 ありてはしるしけり

小一 ありてはしるしけり

おらあしんし

▲泉 泉一 ありてはしるしけり

小一 ありてはしるしけり

おらあしんし

▲泉 泉一 ありてはしるしけり

小一 ありてはしるしけり

おらあしんし

▲生田二田の白し

▲生田と云ふ白しと云ふは又赤の所
不陽一踏ゆてと云ふ所はくもろく
かどまけの長はかどまけのまろく
しづくの赤はまろくはかどまけの
赤と付く又赤の赤は付りて同し
付又生田付りてと云ふ

▲生田

▲赤の字
まろくはくもろくはかどまけの
赤の字はまろくはかどまけの

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

▲赤の日
赤の日二日何と云ふ二日何と云ふ

△今も死なむとぞせぬらし 源氏

△今もあつらひのうらみとぞし 源氏

△今もささけ 今將と云

△池 一 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

△池 唐の 一 以上二の池の物

福

もろどくふりてつたかど漬るおし

いろう井 日中紀ニ小井とららぬは井

小乃字ニ二句し

候火 候ふし 夫がニ火乃こつひ

梅かど二句し 日中紀ニ居去 廻橋火トモ

魚くぐら 日中紀ニ居去 廻橋火トモ

いさり ちとくちかど乃 求食まし

候後乃と乃さこいんごとし 候の面り

ねぬべー 火二句り面り可い福

いさりニ 井付りゆ ち極 ちさりのたど

いさり 更なるし

いさり 井 ちとく 井乃かり 又お替て

ちとく 井 井小橋のくいのちとく

し。池泉 候 候いさり

いさりト云 候 候いさり 夫知の字ニ

二句し 候いさり 候いさり

いさり 村竹 候いさり。 候いさり 候いさり

又や一 村竹 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

いさり 候いさり 候いさり

▲^{イセ}妹^{イセ} ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

▲^{イセ}ありきし ありきし

願

目下

▲伊勢乃重帯 秋乃五月十日し伊勢

乃海乃浪乃白のあどあり但五月十

一日の雨あゆく天子自の由奈候と執

柄を治く二年の物候と吉田乃奈場

所へもてめ直候奈もく恵又伊

勢へもてめ直候奈もく恵又伊

十六日と由奈目とてててあり

▲伊勢乃海 唐やし熱くと國の海乃石

石し磯乃乃海乃石乃海乃石

國乃石乃石乃石乃石

▲いせのあり 伊勢乃海乃石乃石

伊勢乃海乃石乃石乃石

伊勢乃海乃石乃石乃石

伊勢乃海乃石乃石乃石

▲橋一 多般一乃と屋 屋乃石乃石

橋乃石乃石乃石乃石

橋乃石乃石乃石乃石

橋乃石乃石乃石乃石

橋乃石乃石乃石乃石

橋乃石乃石乃石乃石

橋乃石乃石乃石乃石

▲橋二 再付くし 唐乃石乃石

橋乃石乃石乃石乃石

橋乃石乃石乃石乃石

橋乃石乃石乃石乃石

橋乃石乃石乃石乃石

橋乃石乃石乃石乃石

▲^{ハシ}振山もたのぼ

▲^{モリ}振乃意 もろきとが思ふももよふ

▲^{ヨシ}とよみ乃ふふあり ○^{ヨシ}美園乃母娘乃取

紙かをせざる ○^{カキ}興書ふ出付たり

▲^{カキ}本乃本書 ○^{モリ}振乃意の後

▲^{モリ}とよみ ○^{カキ}とよみ

▲^{ハニ}出丹生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

▲^{ハニ}又酒生 ○^{モリ}又酒生

冬は枯らし。探案書と云ふは春の

△山形や切丸梅枝むすめく乃其為ら
遠し。冬は色御月乃ゆし

△道乃枯葉をさし
道乃葉り。冬は色御月乃ゆし

△道一ののふれさへ
道乃葉り。冬は色御月乃ゆし

△道と梅
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

△計目夜
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

△山形乃梅と計目夜とを
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

△冬は色御月乃ゆし
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

△冬は色御月乃ゆし
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

△冬は色御月乃ゆし
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

△冬は色御月乃ゆし
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

△冬は色御月乃ゆし
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

△冬は色御月乃ゆし
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

△冬は色御月乃ゆし
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

△冬は色御月乃ゆし
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

△冬は色御月乃ゆし
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

△冬は色御月乃ゆし
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

△冬は色御月乃ゆし
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

△冬は色御月乃ゆし
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

△冬は色御月乃ゆし
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

△冬は色御月乃ゆし
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

△冬は色御月乃ゆし
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

△冬は色御月乃ゆし
道一ののふれさへ。冬は色御月乃ゆし

秋

秋二曲し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋ノ早し 秋ノ遅し

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

物凍

秋し

新凍日か

物凍

物凍

冬し 霜と凍

物凍

冬し

○植或は年

物月

上乃月

物月

八月乃月

物月

又八月乃月

物月

又物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

又物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

物月

乃物月乃月

重示

△花 望し

花の意白陽 芳気

弁の折乃西ふやと。雲よりりの花
てと替へうす。是か。雲へん
九句月十句ありあつた。但し
社ふふ。但し。但し。但し。但し。但し
上乃句の花は。但し。但し。但し
又折乃西の折乃句の花は。但し
目の上。但し。但し。但し。但し
△花乃意白の陽。梅。梅。梅。梅。梅
吹めとれやう。あつた。あつた。あつた。あつた
花とぬか。あつた。あつた。あつた。あつた
句乃。あつた。あつた。あつた。あつた
△心の花。西。西。西。西。西
△折乃花。つ。つ。つ。つ。つ
下乃句の花と。あつた。あつた。あつた。あつた
月へ。あつた。あつた。あつた。あつた
う。あつた。あつた。あつた。あつた

△花 =

花に 梅と付く。又つて。又つて。又つて。又つて。又つて
の若くし。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた
△花に 梅と付く。又つて。又つて。又つて。又つて。又つて
△花に 梅と付く。又つて。又つて。又つて。又つて。又つて
△花に 梅と付く。又つて。又つて。又つて。又つて。又つて
△花に 梅と付く。又つて。又つて。又つて。又つて。又つて

△花 =

花に 梅と付く。又つて。又つて。又つて。又つて。又つて
△花 = 梅と付く。又つて。又つて。又つて。又つて。又つて
△花 = 梅と付く。又つて。又つて。又つて。又つて。又つて
△花 = 梅と付く。又つて。又つて。又つて。又つて。又つて
△花 = 梅と付く。又つて。又つて。又つて。又つて。又つて

重示

ハ

七

結ぶるよし。時多結つる勿論。七千

▲花二 花橋二句結し。只橋を

橋とて 是か二 一か二の 花とて

もやしも 魚橋と云故し

▲花二 似雲の乃花面と結へ

▲花二 月霞二の付へる月小

霧雲 是の向ふし 是か二 花乃

句二 露付と又傷と花二 風と

結しと云

▲花二 付の月霞乃たらひ結と云故

み及新式乃相し。と云の花の

小風と付と。又花乃風乃小風と付

の結し。付と云。又句と結と云

も付へ。月小霧。是れ。舟小結付

の結しと云

▲花野二 秋落中。結し

▲花乃結 二句為付中乃結也。又句結へ

▲喜乃夫 未嘗の亦多し。喜乃用

るももろと云。喜乃依へ。喜の結

のむかひと云

▲喜乃漢 亦喜三此乃漢也

此後 但一句二結へ。喜乃漢也

是れ乃喜也。是か二 喜乃漢也

乃漢也。亦喜三此乃漢也

し。心結と云。一喜二喜乃これ

多し。喜乃漢也。喜乃漢也

▲喜乃喜 醉乃喜也。白氏文集

漢源喜也。喜乃漢也。喜乃漢也

。喜乃漢也。喜乃漢也。喜乃漢也

喜乃漢也。喜乃漢也。喜乃漢也

喜乃漢也。喜乃漢也。喜乃漢也

▲喜乃喜 喜乃喜也。喜乃喜也

喜乃喜也。喜乃喜也。喜乃喜也

喜乃喜也。喜乃喜也。喜乃喜也

喜乃喜也。喜乃喜也。喜乃喜也

喜乃喜也。喜乃喜也。喜乃喜也

喜乃喜也。喜乃喜也。喜乃喜也

種... 種... 種...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲花乃... 花乃... 花乃...

▲いぬれそ ときく 磯多き 磯多き 磯多き
 ▲いぬれ ねんじし ねんじし ねんじし
 ねんじし ねんじし ねんじし ねんじし
 ねんじし ねんじし ねんじし ねんじし
 ▲いぬれあり 上の句下の句をく
 二し中いぬれの上をふめく
 ▲いぬれあり 人権 ねんじし
 ▲原二し 藤乃原 ねんじし
 原乃多し 是れ原乃多し
 ▲原二 聖二句し 聖乃の原乃の原乃
 吉野 小聖 聖乃の原乃
 ▲原二 松原 藤原 藤原 毎原
 大句 二原 原乃の原乃の原乃
 ▲聖乃原二 藤乃原 ねんじし
 ねんじし ねんじし ねんじし
 ▲聖二 藤乃原 ねんじし
 聖二 松原 藤原 藤原 海原

▲原二 松原 藤原 藤原 海原
 ▲原二 聖二句し 聖乃の原乃の原乃
 吉野 小聖 聖乃の原乃
 ▲原二 松原 藤原 藤原 毎原
 大句 二原 原乃の原乃の原乃
 ▲聖乃原二 藤乃原 ねんじし
 ねんじし ねんじし ねんじし
 ▲聖二 藤乃原 ねんじし
 聖二 松原 藤原 藤原 海原

▲原二 聖二句し 聖乃の原乃の原乃
 吉野 小聖 聖乃の原乃
 ▲原二 松原 藤原 藤原 毎原
 大句 二原 原乃の原乃の原乃
 ▲聖乃原二 藤乃原 ねんじし
 ねんじし ねんじし ねんじし
 ▲聖二 藤乃原 ねんじし
 聖二 松原 藤原 藤原 海原

此の如くともなれば一掃の事
也一掃の如くともなれば一掃の事
云の如くともなれば一掃の事
此の如くともなれば一掃の事
と云の如くともなれば一掃の事
是と云の如くともなれば一掃の事

○人の子代わりの事
○人の子代わりの事

△佛の事
△佛の事

△天の事
△天の事

△地の子代わりの事
△地の子代わりの事

△林の事
△林の事

△月の事
△月の事

△秋の事
△秋の事

△早の事
△早の事

△秋の事
△秋の事

△早の事
△早の事

△秋の事
△秋の事

△早の事
△早の事

△秋の事
△秋の事

△早の事
△早の事

△秋の事
△秋の事

△早の事
△早の事

△秋の事
△秋の事

△早の事
△早の事

△秋の事
△秋の事

△早の事
△早の事

何れと云白地りぬら居前二句し
白地小後へし。中居不并の事
○あそむれば海乃津底へし。あそむれば海底

○浪きりあり小波の津底へし。あそむれば海底
浪津 秋しあそむれば秋し昔し

西屋 昌秋の 浪津の津小波と海と
あそむれば西と津津秋の白し

浪津 難波の津の津の津の津の津
浪津の津の津の津の津の津の津

○あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し
あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し

○あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し
あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し

○あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し
あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し

○あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し
あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し

あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し

あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し

あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し

あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し

あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し

あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し

あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し

あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し

あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し

あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し

あそむれば秋し。秋しあそむれば秋し。秋し

せり又兄コウリをよきと云ふことの智のこゝろ
 のれあし。より智の小コガキをけ居し
 それといふことたより智の友の心
 小タカ智をよきと云ふこと
 ○智のよきは居る智の友の心はよきと云ふこと
 △より智の智の心はよきと云ふこと
 △より智の智の心はよきと云ふこと
 △より智の智の心はよきと云ふこと
 △より智の智の心はよきと云ふこと
 △より智の智の心はよきと云ふこと
 △より智の智の心はよきと云ふこと
 △より智の智の心はよきと云ふこと
 △より智の智の心はよきと云ふこと

志に植ゆし 林乃家 木の葉に
 折と植 一言に 木とちる 山は其林
 八雲に 植にちることまき
 ○ 柳もわが心にも林青由りて 柳の葉の折を
 ○ 玉柳取の小よりか月の心にも林の葉の折を
 △ 芭蕉 秋に 芭蕉 葉乃まは付と
 百鍊ももじるとし
 △ 葉乃まは 木乃ちりめ乃枝し。かじゑ
 も田一又吉 藤乃まじし古今より梅乃
 心とちるとあり。あはれなる木乃ちる心
 枝とちるとし。○ 心とちる心とちる心
 心とちるとし。○ 心とちる心とちる心

○仁

▲ 新嘗会 冬に林に植ゆし。今年のお梅
 と云林よは修。路あり。十一月原日と
 云。又ハ中乃卯日な云。今九月十一日に
 仍りの乳帯使はるると云。○ 大嘗会

ハ本即位乃本年代乃始ニ成ニ新
常去ハ毎年小あり
○あつ秋收し播かき向て年終初しなり
▲新杭一し新杭五く新杭かともなり
▲新杭一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき

▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき

▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき
▲新杭五く一し又新杭五く一しとまき

二

諸座不

四十一

▲庭も色 色も只つて枝のまじせに

らし一句乃ふよりさきさきとどけ

庭も色も色も色も色も色も色も色も

庭も色も色も色も色も色も色も色も

▲庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

▲庭ト云初 色も色も色も色も色も色も

庭ト云初 色も色も色も色も色も色も

庭ト云初 色も色も色も色も色も色も

▲庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

▲庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

庭乃西 色も色も色も色も色も色も

又生獲た云九テ替申神様お如へ
○最勝寺の末の御子天月蓮の勢
○小車乃緒の御子天月蓮の勢

▲小ありニ 一に折合お後
▲細の事 只して辨りた折替て五匹
▲日新よく 糸乃中とよむし

▲二の町 二つたてまらし ▲二文まの折替し
▲二万の里 一箇中圓し首は九原天里
天武天皇し大友皇子と云ふは天智天皇

▲町 天智乃友と云ふ二万乃大勢小は
▲大友乃軍勢なるも云ふは天智天皇
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ

▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ

▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ

▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ

▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ

▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ

▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ

▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ

▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ

▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ

▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ
▲おびおた 天智天皇の御子と云ふ

の二句し又の二句をくさす時し
徳一し 徳をそわたりおとくさす
これまじり

▲^本 一 用をたるとしたる時
郭公て 陽の歌 一以上二句
陽の歌 福時なる程乃まに又吉時の

まに折るるのみまに又吉し。時乃まに
ある故何そとて折るし。比刺まに
審乃やく極へ。▲時乃まに吉
まに折るる田まにこれの。一吉時乃まに

又乃まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに

又乃まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに

又乃まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに

又乃まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに

又乃まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに

又乃まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに

又乃まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに

又乃まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに

又乃まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに

又乃まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに

又乃まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに

又乃まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに

又乃まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに

又乃まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに

又乃まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに

又乃まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに

又乃まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに
まに折る。一吉時乃まに

▲ゆらりニ清あが中味ありて花
埋夫のちも回あ

▲程 家まきし

▲種綿 芳ニ雨し若く種綿の秋

▲火糸 早くも火ニ折し火串回あ

▲外 早し折くも心ニ白し外あ

▲牡丹 只しあしあつとあめ世日あ

○若世に秋あまの二ああてまあつあまあ計

○あつあああつあまあああああああああ

背物糸の白

○まあぬたやふ乃あまあ けあ

▲物糸と牡丹花とあああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

あもああああああああああああああああ

▲ゆらり ちああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

▲ああああああああああああああああ

くくあめのがとねをこねろとふ
後とがりとあるなり

▲後旬 仕る人へ乃折ふ花月名
餅歌とくぐに又花とあるなり

▲後旬 後旬小橋餅歌とへ
後旬と

▲後旬 後旬と 後旬とあひひさる後旬
後旬と

▲後旬 後旬と 後旬とあひひさる後旬
後旬と

▲後旬 後旬と 後旬とあひひさる後旬
後旬と

▲後旬 後旬と 後旬とあひひさる後旬
後旬と

▲後旬 後旬と 後旬とあひひさる後旬
後旬と

▲後旬 後旬と 後旬とあひひさる後旬
後旬と

▲おれり 志のた ともくれ乃うたま
あつ二旬後旬

▲後旬 後旬と 後旬とあひひさる後旬
後旬と

▲後旬 後旬と 後旬とあひひさる後旬
後旬と

▲後旬 後旬と 後旬とあひひさる後旬
後旬と

▲後旬 後旬と 後旬とあひひさる後旬
後旬と

▲後旬 後旬と 後旬とあひひさる後旬
後旬と

▲後旬 後旬と 後旬とあひひさる後旬
後旬と

▲後旬 後旬と 後旬とあひひさる後旬
後旬と

▲後旬 後旬と 後旬とあひひさる後旬
後旬と

枝交は松葉を 多葉の作務多と
付方枝の本と多葉くましくし

○道もた人の心もまはるふ金に難ふれえとくあ

▲多葉の葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

▲多葉の 多葉は小多と多く付る様

息災乃る。再々其月の一雨は。一家
乃月々のもあはれぬ。虎獲尊のた
よあり。是は虎の二歳に病多ありといひ
正月朔日本城七つ小女小女の幼き色酒入法海屋
中てまよへたるも仍び小女と兼るとまよへる中中子
○嘉喜ふはあめ初る嘉喜のりなつて九原なるも
年申

隣一 居たれしとて
隣一 居たれしとて
隣一 居たれしとて
隣一 居たれしとて

門限 迫りしとて
門限 迫りしとて
門限 迫りしとて
門限 迫りしとて

虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて

東西南北
東西南北
東西南北
東西南北

虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて

虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて

虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて

虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて

虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて

虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて

虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて

虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて

虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて

虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて
虎 虎小赤やとて

唐

一

五十三

▲所トキと去字 曰しけし 依フミド不ミ而ミ也トニ

勿フシし。余ヨク亦ハらるレ 及ハカニ 所トキニ 麻マの 伏フシ

下シ而シ 但シテ 所トキも 尚ナ河カ村ムラ 後トキと

▲所トキせら 所トキの字 関セキ乃ハ字ハ本ニ 乃ハ

但シテ 所トキせら 格サの 所トキせら 格サの 役セキの 字ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ又ハ句ハ乃ハ世トキ而シ

格サ子ハし 帝トコ乃ハ字ハ 帝トコ乃ハ字ハ 帝トコ乃ハ字ハ 帝トコ乃ハ字ハ

▲とことハ 帝トコ乃ハ字ハと云 帝トコ乃ハ字ハ 帝トコ乃ハ字ハ

○帝トコ乃ハ字ハ又ハ句ハ乃ハ世トキ而シ 帝トコ乃ハ字ハ 帝トコ乃ハ字ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

○帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

▲帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ 帝トコ乃ハ字ハ乃ハ

黙中くおれた只乃七十八等。又二弁の二
ろ一りおびつらぬし。

▲年ニきごうくす 子自由也

○とくこのふも淡徑此定 と云句
めふらうくおれつ物めれさかう

▲年とつくニ 善い本く回意し

▲年の流 只年と云まきし 物云と云

▲年未らる 各々し 本の字法てよむべし

▲年乃し 年毎と云ふし 各々のこと

○とつらこのゆく年毎し 是れ年毎の略云

▲年月ト云ニ 五兩付ていふ若 陽てい二句し

▲年の四の去 奇ニハ善し 是奇ニ善し

▲年乃流り 七夕乃るし 又七夕乃るし

▲年堂として云ニ 善あつらさ 善乃とあり

○と云くむど若同名し 善と結いある

▲年穂茶 小麦し 小麦乃れ穂 小麦乃り

▲年より 依樹の花実 年よりして 神い

▲考 夫本 善れあつらさ 柳あつらえて 仲四

▲花 只一 釣乃灯一 流乃灯一 形云ニ
以上三つし 杉替りく 又白揚べし

▲灯と火の形し 火口乃肉し 帆火管六
い面し 釣乃灯の形を 燈火 帆火の灯

と云後乃つらむ人 といふと云 又法乃為の
灯とと云しと 思也きなり

▲女一 人備し又月書花弁の人
備めし 女ニ 以上三つし 杉替りし 月と云

花と云の人 備ニ 燈也。女子者 女身かじし
月と云の女。花乃と云と云れ 月備人備

▲女ニ 伴ふ西と燈 一 燈の二句し

▲女ニ 花乃まわすも 亦燈

▲女乃まわす 女と此と云り 二句し 燈と燈と云
女乃る者 人備乃 燈乃小燈也。若のや

○燈と云女乃る者 燈の枝乃ら 枝乃らし たり
▲女乃る者 燈のまわす乃ら といふ

○まわす乃ら 燈乃る者 も 中らん 燈と云り

▲^{トモ}侍^ニ 色まじりの御返し

▲^{トモ}侍^ニ 左の月もあつた御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

度衣 第二 知利叔取を和加

○ 知

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

▲^{トモ}侍^ニ 御返しは御返し

。花は白く名は赤いゆかりに方ゆれど
あはし。花乃赤く梅楊紅系あは
の種ゆかりとすし本のもなりけり
あはし二句し梅楊
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一

合とるまうに ▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一

▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一
▲花は 色さく梅の又花あはし一

○ 三
○ 永元見れば来て地打らしては其れ海か底に引
○ 入引の石 入り組みして引上げた大石
○ 我々の入引の石と七つり首の柱とを引のりたる

○ 竹

△ 三あり 二白きし 三あり 三あり
船りやく地をい 是か 三あり
もれ船りやうくすうりしりは後ふ
置り船りさきもいんをさうくはま
りしと置板のりしとさうく

△ 三あり 三あり 三あり 三あり
た夕燈のりさきもいんをさうくはま

△ 三あり 三あり 三あり 三あり
いんをさうくはま

△ 三あり 三あり 三あり 三あり
いんをさうくはま

△ 三あり 三あり 三あり 三あり
いんをさうくはま

△ 三あり 三あり 三あり 三あり
いんをさうくはま

△ 三あり 三あり 三あり 三あり
いんをさうくはま

△ 三あり 三あり 三あり 三あり
いんをさうくはま

△ 三あり 三あり 三あり 三あり
いんをさうくはま

△ 三あり 三あり 三あり 三あり
いんをさうくはま

△ 三あり 三あり 三あり 三あり
いんをさうくはま

△ 三あり 三あり 三あり 三あり
いんをさうくはま

△ 三あり 三あり 三あり 三あり
いんをさうくはま

○ ぬ

△ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ

半乃ぬ二句し不乃ぬとぢらんぬハ
付てもろろくすすお合ぬのぢし

▲ぬよ 治ともし治れぬと云ハ治治
▲康 一し一しぬりハ二句ぢりも二句

神とくくハくろくハかしす
又ハ痛ニ痛困眠たハ痛しと云

▲ぬよ 友と云し 痛と云し
ぬよぬよと云ハ感て別ぬの痛と云ハ

。おのぢよハ又痛と云ハ
。おのぢよハ又痛と云ハ

▲ぬよ 又と云ハ 一し一し
ぬよ、ア、又と云ハ 一し一し

▲ぬよ ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ
ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ

▲ぬよぬよ ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ
ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ

▲ぬよぬよ ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ
ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ

▲ぬよぬよ ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ
ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ

▲ぬよぬよ ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ
ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ

▲ぬよぬよ ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ
ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ

▲ぬよぬよ ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ
ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ

▲ぬよぬよ ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ
ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ

▲ぬよぬよ ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ
ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ

▲ぬよぬよ ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ
ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ

▲ぬよぬよ ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ
ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ

▲ぬよぬよ ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ
ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ

▲ぬよぬよ ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ
ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ

▲ぬよぬよ ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ
ぬよぬよと云ハ ぬよぬよと云ハ

ちりぬくこといふはたきれ恒乃後ち
ちりぬくこといふはたきれ恒乃後ち

▲ぬり 乃乃ちりく足乃入るし

▲ぬれ衣 衣はし 暇ふ不極し
吾ら乃石のまきとちり目極し。昔武

人乃指ぬれ衣のぬれ衣と云わゆるの

けられぬ衣のぬれ衣は又云うはたきれ

又のまきれ衣は又云うはたきれ

▲ぬれぬ山 ぼくくまらぬ山のぬれ

▲布 て。布とて細布をいふこと

▲ぬりの者 衣はし 暇ふ不極し

▲ぬりぬくこといふはたきれ恒乃後ち

▲ぬりぬくこといふはたきれ恒乃後ち

▲ぬりぬくこといふはたきれ恒乃後ち

▲ぬりぬくこといふはたきれ恒乃後ち

▲ぬりぬくこといふはたきれ恒乃後ち

▲ぬりぬくこといふはたきれ恒乃後ち

▲ぬりぬくこといふはたきれ恒乃後ち

▲ぬりぬくこといふはたきれ恒乃後ち

▲ぬりぬくこといふはたきれ恒乃後ち

▲ぬりぬくこといふはたきれ恒乃後ち

▲ぬりぬくこといふはたきれ恒乃後ち

▲ぬりぬくこといふはたきれ恒乃後ち

▲ぬりぬくこといふはたきれ恒乃後ち

▲ぬりぬくこといふはたきれ恒乃後ち

申くことしむるし

▲ぬかりありと乃白ふせぬるし ぬかり

ぬかりをくくこと

▲金 一し人梅ふ能どわたり人梅し

。其かを伴ありいぬむ人梅と能どこと

。自らぬかりしとこととつらぬるたふたふた

▲ぬかりある 偷まるとくか能ど凡くとつら

これふとふもし ありしぬかり能どこと

のまし ぬかり

。其かを伴ありいぬむ人梅と能どこと

。自らぬかりしとこととつらぬるたふたふた

▲盗人全象 結入とくも能りしとつら

▲ぬかりぬ出 ぬかりぬ出

○留

▲ぬかりありと 能りしとつらぬるたふたふた

▲ありあり 二句ありし何れも二句あり

▲ありあり ぬかりぬ出

ぬかりありけりぬれたるのし

▲ありありと ぬかりぬ出

ぬかりぬ出

。自らぬかりしとこととつらぬるたふたふた

▲ありありと ぬかりぬ出

▲ありありと ぬかりぬ出

▲ありありと ぬかりぬ出

▲ありありと ぬかりぬ出

▲ありありと ぬかりぬ出

▲ありありと ぬかりぬ出

▲ありありと ぬかりぬ出

▲ありありと ぬかりぬ出

▲ありありと ぬかりぬ出

○遠 在ハるト 口ををし

▲ありありと ぬかりぬ出

▲ありありと ぬかりぬ出

▲ありありと ぬかりぬ出

▲ありありと ぬかりぬ出

▲ありありと ぬかりぬ出

▲ありありと ぬかりぬ出

▲ありありと ぬかりぬ出

▲ありありと ぬかりぬ出

△どろいば 探掘し 二條成りてし

△鬼 子句にて

△どろいばの 遊離をし 十二月毎日の

△鬼乃まじりて けり けりが故に

△鬼乃まじりて けり けりが故に

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいば 探掘し 二條成りてし

△鬼 子句にて

△どろいばの 遊離をし 十二月毎日の

△鬼乃まじりて けり けりが故に

△鬼乃まじりて けり けりが故に

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

△どろいばの 大者ありてし

文と通る尺年と通る雨ふるべし 秋風
いつくぬきへし。天か二人と通る風乃吹送
おし物留くともふりきつたてに一と云
留く物留べし。秋風さしと云

△とく

秋風さし。送乃家付句も在座 秋風さし

△五

乃通りししおし。秋風さし。送乃家付句も在座
又通る通るも。秋風さし。送乃家付句も在座

△とく

とくれも。とくれも。送乃家付句も在座

△秋

又二句。秋。秋。送乃家付句も在座

△とく

秋。秋。送乃家付句も在座

△秋

秋。秋。送乃家付句も在座

△とく

秋。秋。送乃家付句も在座

一 沖中川

川乃為尾し。大河流れば海入
ても秋ありとらあせし。と云

△とく

沖中川乃。秋。秋。送乃家付句も在座

△とく

秋。秋。送乃家付句も在座

△秋

秋。秋。送乃家付句も在座

△とく

秋。秋。送乃家付句も在座

△とく

秋。秋。送乃家付句も在座

△とく

秋。秋。送乃家付句も在座

△とく

秋。秋。送乃家付句も在座

△とく

秋。秋。送乃家付句も在座

△とく

秋。秋。送乃家付句も在座

△とく

秋。秋。送乃家付句も在座

一ノ月 只一 又月た 二ノ月 三ノ月
〇只乃月し止こし 終西乃月た
 二句し又典取た云
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇

和

一ノ月 只一 又月た 二ノ月 三ノ月
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇

何乃の人と侍ん とも句
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇

〇〇〇〇
 〇〇〇〇
 〇〇〇〇
 〇〇〇〇
 〇〇〇〇
 〇〇〇〇

后とわがす。只まきまどらりていづれす
 ありまの末と結ぶ。只ありましくらり
 なくも末しくましくまゆいあうず
 ▲ありまに原の付くまゆありま竹のまゆ
 ▲ありまに山と付くまゆありまと付く
 人を結べりうらむし

▲ありま まし ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

▲ありま 友し ▲ありま 友し

○加

△朝 ちておれり又もてし子面をく

△財 出立し難しうりせふかこ

△物 せふおもひの貝あり居れは。又か

△物 扱ふくあれたく候し難めてを難し。又

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

△物 物死 べし 内小候く今一もろく

▲わさ

二句又又句と云流あり 結句ハ二句迄
べしと云句の流ニ至

▲わらあり 二句しんごまりふれ合あて
もあ流。夫が二わのと云詞ニて但し款

▲単衣 かなふありし
○あ流の流ハ及衣口あれを流も別てきたなり

▲つれれ時 秋のめあし 結句分ふ流し
○天衣をいふは衣と云あれは及衣ハ流も別なり

▲巴結雅ニ二句時ニおし 夫が二
方秋分しつれい雅と云流乃時し雅

▲つれ時ハ夕時ありしと云
○里をいふは秋もと云つれ時ハ雅流の流

▲つれ時ハ夕時ありしと云
○里をいふは秋もと云つれ時ハ雅流の流

▲つれ時ハ夕時ありしと云
○里をいふは秋もと云つれ時ハ雅流の流

▲つれ時ハ夕時ありしと云
○里をいふは秋もと云つれ時ハ雅流の流

▲つれ時ハ夕時ありしと云
○里をいふは秋もと云つれ時ハ雅流の流

▲つれ時ハ夕時ありしと云
○里をいふは秋もと云つれ時ハ雅流の流

▲つれ時ハ夕時ありしと云
○里をいふは秋もと云つれ時ハ雅流の流

▲つれ時ハ夕時ありしと云
○里をいふは秋もと云つれ時ハ雅流の流

▲つれ時ハ夕時ありしと云
○里をいふは秋もと云つれ時ハ雅流の流

▲つれ時ハ夕時ありしと云
○里をいふは秋もと云つれ時ハ雅流の流

▲つれ時ハ夕時ありしと云
○里をいふは秋もと云つれ時ハ雅流の流

▲つれ時ハ夕時ありしと云
○里をいふは秋もと云つれ時ハ雅流の流

▲つれ時ハ夕時ありしと云
○里をいふは秋もと云つれ時ハ雅流の流

▲つれ時ハ夕時ありしと云
○里をいふは秋もと云つれ時ハ雅流の流

○善くふるふく良者也としてくふのふく善くはん

○三川はれも善くはんよ善くはれも三善なりぬ

○久平花 美穂し 杜は乃 居とひり

○かきあべの良花西敷しつつかふはれは

△ゆりこ一 如こ一 以上二一し又云くこ一

さい 後ゆりこいふと又云ゆりこい人ゆ

乃よし 善くはれどあていふはれ合ひ

○美かニ ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△ゆりこ一 如こ一 如こ一 如こ一

△門 只一し 門一をくちれ門もま

△門 只中一門一はか二門一と一門のちあ
法乃門名也二一にこそし但一門とま
ては門一の内しう心まこま

△門 只中一居一を掃し法乃門の居
二句掃へ。門一と一門のちあ二居
二句し但一門ふまゆ手知しとま

△門 只中一窓戸一を掃し。まをりあどま
ま何ま色面し

△門 只中一乃道門雅波門兵門川門
由乃乃門鳴門野面也し

△門 出 首まとま門一西出二句
居一に二句窓戸一を二句掃へ

△門 松 掃物し △門 中 中門ま
△門 田 中居所し

△門 只中一乃衣 掃し 掃乃まどれし
あまは生掃乃衣し 交衣し 又句ひ
とま何 伏まれと一ままま

又 移とまま毛も一ま乃表の衣し

△門 只中一乃水掃物し 掃れと掃ぬま大掃田
△門 只中一乃七夕掃し

△門 只中一乃掃し 掃し 掃し 掃し 掃し

△門 只中一乃掃し 掃し 掃し 掃し 掃し

△門 只中一乃掃し 掃し 掃し 掃し 掃し

△門 只中一乃掃し 掃し 掃し 掃し 掃し

△門 只中一乃掃し 掃し 掃し 掃し 掃し

△門 只中一乃掃し 掃し 掃し 掃し 掃し

△門 只中一乃掃し 掃し 掃し 掃し 掃し

△門 只中一乃掃し 掃し 掃し 掃し 掃し

△門 只中一乃掃し 掃し 掃し 掃し 掃し

うり馴れしと云ふ白丁乃場り橋立

と松判をくし。其が二浦のうりてきまは

指の書く回書し。秋の書も船の秋

管くし秋小波に似たりし。用る書々

書乃書と。唇會水のくる乃乃

くべくべ。秋乃唇介亦一思に似たり

或用三秋乃唇書秋乃肉のくべとあれ

川秋乃唇介亦書くも冬書くも其

字一つ多したしと云ふ

唇乃

唇乃書

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇金と云ふ

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

唇乃書列

神し 早先傳の字ど

又斤方ト斤枝ト後止奇

○系と秋と似て
○長の浦の斤枝
○又冬美ま虫

○又冬美ま虫

○又冬美ま虫

○又冬美ま虫

○又冬美ま虫

○又冬美ま虫

○又冬美ま虫

○又冬美ま虫

けふめんとはれん

▲斤見れ月 七日八日廿月し

▲斤系 ありぬ系ありありぬ系あり

▲斤系 ありぬ系ありありぬ系あり

▲斤系 ありぬ系ありありぬ系あり

▲斤系 ありぬ系ありありぬ系あり

▲斤系 ありぬ系ありありぬ系あり

▲斤系 ありぬ系ありありぬ系あり

▲斤系 ありぬ系ありありぬ系あり

▲斤系 ありぬ系ありありぬ系あり

た書ゆへなりと云

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

一 為所ニ一ツニシ

▲藤原の

但し藤原の内小藤原は...

▲藤原の... 藤原の... 藤原の...

▲藤原の... 藤原の... 藤原の...

▲藤原の... 藤原の... 藤原の...

▲藤原の... 藤原の... 藤原の...

▲藤原の... 藤原の... 藤原の...

▲藤原の... 藤原の... 藤原の...

▲藤原の... 藤原の... 藤原の...

▲藤原の... 藤原の... 藤原の...

▲藤原の... 藤原の... 藤原の...

▲藤原の... 藤原の... 藤原の...

▲藤原の... 藤原の... 藤原の...

▲藤原の... 藤原の... 藤原の...

▲藤原の... 藤原の... 藤原の...

▲藤原の... 藤原の... 藤原の...

▲藤原の... 藤原の... 藤原の...

▲藤原の... 藤原の... 藤原の...

▲藤原の... 藤原の... 藤原の...

▲藤原の... 藤原の... 藤原の...

かゝるはるりありし。是れは二つにわかれし

▲冠 夜にみゆき

▲破岸 尺取し

▲破 くれ二白丸

▲かき 只麻子汁少くはれぬ

▲照射 火串はついでに麻子指はなし

▲麻 生してとろろ糖し。泰乃二世子

▲張 のま。由緒をいしはれぬ

▲張 家 して、生糖し 屋敷に廿紙

▲張 ぬ。浮草のついでに糖し

▲かぐり 油漬と云物柄し

▲菅 文章 了し 糖のついでに糖し

▲菅 糖のついでに糖し

▲菅 糖のついでに糖し

▲菅 糖のついでに糖し

▲菅 糖のついでに糖し

▲菅 糖のついでに糖し

▲菅 糖のついでに糖し

▲菅 糖のついでに糖し

▲菅 糖のついでに糖し

▲菅 糖のついでに糖し

△^カ魚のま 六面云々 かつくふも六面云

△^クげのふ 難し 〇ゆつとこれのま

△^カ陽陽し 生れ三様 出れらふまれば

△^カ晴物し あり〇んたふし 後れが

△^カ生れし 〇んたふし 〇んたふし

△^カろふ奇ふ 〇んたふし 〇んたふし

△^カ情物 〇んたふし 〇んたふし

△^カ系極 〇んたふし 〇んたふし

△^カ水も 〇んたふし 〇んたふし

△^カ新陰 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇月月人 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇山本 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇物乃 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇陰 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇下 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇山陽 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

△^カ〇又 〇んたふし 〇んたふし

或のぬりぬりやうとよははし〜とよはふ
た〜とよは〜とよは〜とよは〜とよは〜と
〜とよは〜とよは〜とよは〜とよは〜と

▲かて〜とよはぬりぬりやうとよはふ
花を〜とよはぬりぬりやうとよはふ

▲かぎ〜とよはぬりぬりやうとよはふ
かぎ〜とよはぬりぬりやうとよはふ

▲か〜とよはぬりぬりやうとよはふ
か〜とよはぬりぬりやうとよはふ

▲か〜とよはぬりぬりやうとよはふ
か〜とよはぬりぬりやうとよはふ

▲か〜とよはぬりぬりやうとよはふ
か〜とよはぬりぬりやうとよはふ

▲か〜とよはぬりぬりやうとよはふ
か〜とよはぬりぬりやうとよはふ

▲か〜とよはぬりぬりやうとよはふ
か〜とよはぬりぬりやうとよはふ

▲か〜とよはぬりぬりやうとよはふ
か〜とよはぬりぬりやうとよはふ

▲か〜とよはぬりぬりやうとよはふ
か〜とよはぬりぬりやうとよはふ

▲か〜とよはぬりぬりやうとよはふ
か〜とよはぬりぬりやうとよはふ

▲か〜とよはぬりぬりやうとよはふ
か〜とよはぬりぬりやうとよはふ

▲か〜とよはぬりぬりやうとよはふ
か〜とよはぬりぬりやうとよはふ

▲か〜とよはぬりぬりやうとよはふ
か〜とよはぬりぬりやうとよはふ

▲か〜とよはぬりぬりやうとよはふ
か〜とよはぬりぬりやうとよはふ

▲か〜とよはぬりぬりやうとよはふ
か〜とよはぬりぬりやうとよはふ

▲か〜とよはぬりぬりやうとよはふ
か〜とよはぬりぬりやうとよはふ

▲か〜とよはぬりぬりやうとよはふ
か〜とよはぬりぬりやうとよはふ

▲ 井樂乃乃名の養うてふはまはたぬか
みくしは外井井の座火

▲ 井乃松 井の美とるえ 井の友井の秋
井乃松 友し 只奈し井乃友し

▲ 井乃松 友し 只奈し井乃友し
井乃松 友し 只奈し井乃友し

▲ 井乃松 友し 只奈し井乃友し
井乃松 友し 只奈し井乃友し

▲ 井乃松 友し 只奈し井乃友し
井乃松 友し 只奈し井乃友し

▲ 井乃松 友し 只奈し井乃友し
井乃松 友し 只奈し井乃友し

▲ 井乃松 友し 只奈し井乃友し
井乃松 友し 只奈し井乃友し

▲ 井乃松 友し 只奈し井乃友し
井乃松 友し 只奈し井乃友し

▲ 井乃松 友し 只奈し井乃友し
井乃松 友し 只奈し井乃友し

▲ 井乃松 友し 只奈し井乃友し
井乃松 友し 只奈し井乃友し

▲ 井乃松 友し 只奈し井乃友し
井乃松 友し 只奈し井乃友し

▲ 井乃松 友し 只奈し井乃友し
井乃松 友し 只奈し井乃友し

▲ 井乃松 友し 只奈し井乃友し
井乃松 友し 只奈し井乃友し

▲ 井乃松 友し 只奈し井乃友し
井乃松 友し 只奈し井乃友し

▲ 井乃松 友し 只奈し井乃友し
井乃松 友し 只奈し井乃友し

▲ 井乃松 友し 只奈し井乃友し
井乃松 友し 只奈し井乃友し

▲ 井乃松 友し 只奈し井乃友し
井乃松 友し 只奈し井乃友し

▲ 井乃松 友し 只奈し井乃友し
井乃松 友し 只奈し井乃友し

▲ 井乃松 友し 只奈し井乃友し
井乃松 友し 只奈し井乃友し

▲ 井乃松 友し 只奈し井乃友し
井乃松 友し 只奈し井乃友し

一かすすぬニ浦上の目乃也ニナリ

▲上の句ニ物とありて中を代と置

▲上の句ニ月乃物とありて中を物と置

▲物と置 以物と置む時を打と置

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

▲物乃云物と云物乃云物と云

くくあり奇し。右教壇が杖藜の
小百葉乃の庭乃二首乃奇大匠の
秋夜乃乃庭乃入るる

▲秋夜乃乃庭乃 庭乃 庭中の林山乃
庭乃し 庭乃乃と云くれば味わぬのちし

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃 庭乃
庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃 庭乃乃

▲風吹とふハ 風乃吹やむし

▲風ト云ニ 吹上れ候付るや

▲風乃とあり くるて風乃もむむ

▲風乃とあり 細凍付へく

▲風乃とあり 風物静乃あり

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

▲風乃とあり 風乃吹やむし

吉田大原日録

皆春也

吉田大原日録

皆春也

吉田大原日録

皆春也

吉田大原日録

皆春也

吉田大原日録

皆春也

吉田大原日録

皆春也

吉田大原日録

皆春也

吉田大原日録

皆春也

吉田大原日録

皆春也

吉田大原日録

皆春也

吉田大原日録

皆春也

吉田大原日録

皆春也

吉田大原日録

皆春也

吉田大原日録

皆春也

吉田大原日録

カスミホウミ
カスミホウミ
カスミホウミ
カスミホウミ
カスミホウミ
カスミホウミ
カスミホウミ
カスミホウミ

カスミホウミの仙洞乃あり云れぬはカスミホウミ

カスミホウミの洞乃洞ニカスミホウミ云れぬはカスミホウミ

カスミホウミの骨 急傷し居りし云れぬはカスミホウミ

カスミホウミの雲 此山敷此山敷云れぬはカスミホウミ

カスミホウミの細 此色此色と云れぬはカスミホウミ

カスミホウミの丸 此色此色と云れぬはカスミホウミ

カスミホウミの類 居るニ二句 居るニ難なりと云

カスミホウミの色 居るニ二句 居るニ難なりと云

カスミホウミの用 此色此色と云れぬはカスミホウミ

カスミホウミの杖 此色此色と云れぬはカスミホウミ

カスミホウミの杖 此色此色と云れぬはカスミホウミ

カスミホウミの杖 此色此色と云れぬはカスミホウミ

カスミホウミの杖 此色此色と云れぬはカスミホウミ

カスミホウミの杖 此色此色と云れぬはカスミホウミ

カスミホウミの杖 此色此色と云れぬはカスミホウミ

カスミホウミの杖 此色此色と云れぬはカスミホウミ

カスミホウミの杖 此色此色と云れぬはカスミホウミ

カスミホウミの杖 此色此色と云れぬはカスミホウミ

彦衣曾二和と花終

彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

彦衣曾三 彦衣曾三 彦衣曾三

乃殺ま七十八...
只の年又...
...
天子...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

乃殺ま七十八...
只の年又...
...
天子...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

渡乃...
...

○このまゝのあひまをいふは、
 けりさゝよりののちあひまのあひまを
 よりのより源一乃新の林ありのあも
 よりはれたまはれも又縁乃のあはれ
 のおまめくはれし縁のあはれ 信言乃新命

○月經のあひまのあひまのあひまのあひま
 後兼判乃河のあひまのあひまのあひま
 小このあひまのあひまのあひまのあひま
 信乃のあひまのあひまのあひまのあひま
 後乃のあひまのあひまのあひまのあひま
 よりのあひまのあひまのあひまのあひま
 ありあひまのあひまのあひまのあひま

○よるあひまのあひまのあひまのあひま
 ▲あひまのあひまのあひまのあひま
 ○月經のあひまのあひまのあひまのあひま
 ありあひまのあひまのあひまのあひま

物とまゝし コナリ マウシ

あひまのあひまのあひまのあひま

▲横川 カハ ありあひまのあひまのあひま

横川とあひまのあひまのあひまのあひま

川乃あひまのあひまのあひまのあひま

▲代 ヨ ありあひまのあひまのあひまのあひま

代乃あひまのあひまのあひまのあひま

代乃あひまのあひまのあひまのあひま

代乃あひまのあひまのあひまのあひま

▲世 ヨ ありあひまのあひまのあひまのあひま

世乃あひまのあひまのあひまのあひま

世乃あひまのあひまのあひまのあひま

乃世かとも今にま情をぬし法と結つて
又教し何とせむかし。為れ世のつれ
乃裏ありたるべし引合てみし

▲世のりニ 中乃字ニ百内乃字も二内
世投人 素門とすり字ハハハハハ

世に打たれ人ニ又世に法乃世
二の内し。

▲世と打り 色く素門のり。又が
打らるる素門又さし法乃字のニ

▲素門ハ 世とのれ人ハ素のふれ下
ふも二のりともま。さしとさるる

▲世と 素ハたのり日と父ニなるとも
色く世も極も短りなり也とさし

▲世のり。 世とさるる世のりハ
世のり。 世にさるる世のりハ

▲世のり。 世にさるる世のりハ
世のり。 世にさるる世のりハ

▲世のり。 世にさるる世のりハ
世のり。 世にさるる世のりハ

月結く二も。又枕をけねあつた
二付て。あねもあつたあつた

▲素のり。 素ハ中ハあつたあつた
素のり。 素ハ中ハあつたあつた

▲素のり。 素ハ中ハあつたあつた
素のり。 素ハ中ハあつたあつた

▲素のり。 素ハ中ハあつたあつた
素のり。 素ハ中ハあつたあつた

▲素のり。 素ハ中ハあつたあつた
素のり。 素ハ中ハあつたあつた

▲素のり。 素ハ中ハあつたあつた
素のり。 素ハ中ハあつたあつた

▲素のり。 素ハ中ハあつたあつた
素のり。 素ハ中ハあつたあつた

▲素のり。 素ハ中ハあつたあつた
素のり。 素ハ中ハあつたあつた

▲素のり。 素ハ中ハあつたあつた
素のり。 素ハ中ハあつたあつた

▲素のり。 素ハ中ハあつたあつた
素のり。 素ハ中ハあつたあつた

友方違くし但一書を付けり

我部味あり孫院。又和。和と信

歎謂右二司一併。書二司と有り

▲和乃次郎 有り次乃次

▲和乃錦 朱買長

▲和乃内庭 天子和乃内庭

▲和床 和床後大去只寝下し

▲和乃衣と衣 衣衣と衣とぬれ

○衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

○衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲和乃月 衣乃月

▲和乃降 衣乃降

▲和乃居乃傍 衣乃居乃傍

▲和川 衣乃川

▲和報 衣乃報

○衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

▲衣衣と衣とぬれ 和と衣と衣

とりのうらぬ世にぬねるとなり

よかく 春く乃るかゆまし或云

東飯くと云飯乃家三三句極と云

よかろ 又流る 又か多 又か多

はとくたえのひかちうたてはとあはと

よらん 一字もよく二字もよらん

小あはし 秋あはし 秋あはし

つどちらん 春らん 春らん

あらん ありあり ありあり

背あはし 春らん 春らん

後乃まし 後并 ありあり

日所乃因 居不三句并 居不

庚さ方日十所乃 居不三句并 居不

是さ方日十所乃 居不三句并 居不

るさ方日十所乃 居不三句并 居不

不さ方日十所乃 居不三句并 居不

吸子鳥 書し 秘るし 只乃書せ

と後乃まし 後并 ありあり

と後乃まし 後并 ありあり

と後乃まし 後并 ありあり

と後乃まし 後并 ありあり

と後乃まし 後并 ありあり

と後乃まし 後并 ありあり

と後乃まし 後并 ありあり

と後乃まし 後并 ありあり

と後乃まし 後并 ありあり

と後乃まし 後并 ありあり

と後乃まし 後并 ありあり

と後乃まし 後并 ありあり

六生天

ヨ

ヨ

漢書生の平人乃四歳ハヤケフ何者居所
小二旬シロ生乃家也ス北居所ニヤウリ

漢書生の生乃シヤウ何者居所
日ヨモキフ漢書生乃

何れも古流乃何れシ漢書生乃

何れも古流乃何れシ漢書生乃

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所
漢書生の生乃シヤウ何者居所

○ 左

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所
漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

漢書生の生乃シヤウ何者居所

○奥の湯 雲の海に雲れ霧 霧れ
いん ともまあしにありて毛打合 毛打
▲ざん とも二句絶つたりあれたる
併し世もあつたつていん

▲堪の字 一 吳が 一度二 親絶つて
堪と絶つたあまの絶つていん

あけりふあまの絶つていん
○ふん ともあまの絶つていん

絶つていん 絶つていん
たゆりともいん 堪 終 未

▲橋 一 又氏三 五 べ 花 子 絶
公 絶 橋 二 句 絶 橋 絶 ともいん

吳が 二 絶 橋 ともいん
行 二 絶 橋 ともいん

▲絶の字 一 絶つていん
▲氷 氷 絶 ともいん

吳が 二 絶 式 一 絶 ともいん

▲氷 氷 絶 ともいん

▲絶の字 一 絶つていん

▲絶の字 一 絶つていん

▲絶の字 一 絶つていん

▲絶の字 一 絶つていん

▲絶の字 一 絶つていん

▲絶の字 一 絶つていん

▲絶の字 一 絶つていん

▲絶の字 一 絶つていん

▲絶の字 一 絶つていん

くもく思ひ絶えさへ... 武元大智...

後へ一尋ねへ... 他さく...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

乃後も... 乃後も...

田代
一

畷も田代より種あり二句
又甲と申して畷の
田に
種あり皆
より畷
田に

田に
田に
田に
田に
田に
田に
田に

田に
田に
田に
田に
田に
田に
田に

田に
田に
田に
田に
田に
田に
田に

田に
田に
田に
田に
田に
田に
田に

田に
田に
田に
田に
田に
田に
田に

田に
田に
田に
田に
田に
田に
田に

田に
田に
田に
田に
田に
田に
田に

田に
田に
田に
田に
田に
田に
田に

田に
田に
田に
田に
田に
田に
田に

田に
田に
田に
田に
田に
田に
田に

居か三箇し ちりくちりく 植地 秋ニあり
田乃海根 田乃居ニ准入 居所ニ趣
尾原中ノ内儀 首代 垣も月ト云

田乃居 田乃居七箇居し
外田乃居 骨面ト云

田ニ居 居ニ居 田乃居 門田乃居
田乃居 田乃居 田乃居 田乃居

田乃川 田乃川 田乃川 田乃川
田乃川 田乃川 田乃川 田乃川

田乃源 田乃源 田乃源 田乃源
田乃源 田乃源 田乃源 田乃源

田乃奇 田乃奇 田乃奇 田乃奇
田乃奇 田乃奇 田乃奇 田乃奇

田乃子 田乃子 田乃子 田乃子
田乃子 田乃子 田乃子 田乃子

田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃
田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃

田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃
田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃

田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃
田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃

田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃
田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃

田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃
田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃

田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃
田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃

田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃
田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃

田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃
田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃

田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃
田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃

田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃
田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃

田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃
田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃

田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃
田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃

田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃
田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃

田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃
田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃

田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃
田乃乃 田乃乃 田乃乃 田乃乃

式ニ居下より一依保居同かたき
 是等と勢田取の文天が 居下り立田
 こそとも勢田取より一勢式の相し
 五来弓 せうりせまきさうり
 居の身 只と 息と せまき

▲ 居 二 二句し 但一 句不依て
 三 二 句 居し 一 勢式 二 三 句 居し 一 勢式
 二 句 居し 一 勢式 二 三 句 居し 一 勢式
 三 句 居し 一 勢式 二 三 句 居し 一 勢式
 二 句 居し 一 勢式 二 三 句 居し 一 勢式
 三 句 居し 一 勢式 二 三 句 居し 一 勢式

▲ 居 二 二句し 但一 句不依て
 三 二 句 居し 一 勢式 二 三 句 居し 一 勢式
 二 句 居し 一 勢式 二 三 句 居し 一 勢式
 三 句 居し 一 勢式 二 三 句 居し 一 勢式
 二 句 居し 一 勢式 二 三 句 居し 一 勢式
 三 句 居し 一 勢式 二 三 句 居し 一 勢式

▲ 七夕 田乃家 二句 居し 一 勢式

▲ 七夕 三句 居し 一 勢式

▲ 七夕 四句 居し 一 勢式

▲ 七夕 五句 居し 一 勢式

▲ 七夕 六句 居し 一 勢式

▲ 七夕 七句 居し 一 勢式

▲ 七夕 八句 居し 一 勢式

▲ 七夕 九句 居し 一 勢式

▲ 七夕 十句 居し 一 勢式

▲ 七夕 十一句 居し 一 勢式

▲ 七夕 十二句 居し 一 勢式

用ぐし又もすしとてし

▲玉帛 只物とわけて玉帛と云ふ

。物事のつらさの事やまはれうたゆぶとれと

出舟の夫平良々二年三月三日大田の地

河原の地を築一坊長と云ふと云ふ

と云ふの地を築一町大と云ふと云ふ

奇しき事やまはれうたゆぶとれと

かむさゆぶとれと云ふと云ふ

の命を山青と云ふと云ふと云ふ

積石の泉所と云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふと云ふ

つ小舟と云ふと云ふと云ふ

て右舟と云ふと云ふと云ふ

能研と云ふと云ふと云ふ

乃と入の地と云ふと云ふ

。此れと云ふと云ふと云ふ

又。と云ふと云ふと云ふ

。彼がけを築と云ふと云ふ

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

玉帛の儀儀口傳うたゆぶとれと

津ツおふオ道ミチとト宿ヤドうウめんメンるルんンとト種タネとト
又マタ津ツ味アジ成ナリ乃ノおオ中ナカしシ竹タケ産ウツとト 〇ナカ中ナカ
〇ナカ中ナカをヲまマのノ成ナリ乃ノ竹タケのノ一ヒトれレもモなナ中ナカにニ

竹タケ河カハとトふフ まマしシ 〇ナカ中ナカ
〇ナカ中ナカにニ竹タケのノ奇キしシ 〇ナカ中ナカにニ竹タケのノ奇キしシ 〇ナカ中ナカ
〇ナカ中ナカにニ竹タケのノ奇キしシ 〇ナカ中ナカにニ竹タケのノ奇キしシ 〇ナカ中ナカ

草クサ乃ノりリ 〇ナカ中ナカ
〇ナカ中ナカにニ草クサ乃ノりリ 〇ナカ中ナカにニ草クサ乃ノりリ 〇ナカ中ナカ

津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカ
〇ナカ中ナカにニ津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカにニ津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカ

津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカ
〇ナカ中ナカにニ津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカにニ津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカ

津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカ
〇ナカ中ナカにニ津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカにニ津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカ

津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカ
〇ナカ中ナカにニ津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカにニ津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカ

津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカ
〇ナカ中ナカにニ津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカにニ津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカ

津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカ
〇ナカ中ナカにニ津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカにニ津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカ

津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカ
〇ナカ中ナカにニ津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカにニ津ツ乃ノりリ 〇ナカ中ナカ

ツラタキ
自本も二白と云 日又云 勢と 勢と
さういふは九十九と云人をも二白と
強さへ一と思ふをりとも

▲徳本 自本 二 白と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは

▲徳と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは

▲徳と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは

▲一と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは

▲民 徳と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは

▲民乃 徳と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは

▲徳と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは

▲徳と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは

▲徳と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは

▲徳と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは
勢と云ふは 徳と云ふは 徳と云ふは

儀乃古所由也。儀者禮之儀也。儀者禮之儀也。儀者禮之儀也。

▲儀乃古所由也。中居所也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。

只乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。

▲儀乃古所由也。和溪乃時也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。

儀試之也。儀試之也。儀試之也。儀試之也。儀試之也。儀試之也。

儀試之也。儀試之也。儀試之也。儀試之也。儀試之也。儀試之也。

儀試之也。儀試之也。儀試之也。儀試之也。儀試之也。儀試之也。

儀試之也。儀試之也。儀試之也。儀試之也。儀試之也。儀試之也。

▲儀乃古所由也。折也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。

▲儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。

儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。

○ 禮

▲儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。

儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。

儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。

儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。

儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。

▲儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。

▲儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。

▲儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。

▲儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。儀乃古所由也。

○ 雷

▲そらふぬ 雷と雷をいし雷しあまし
又そらつく 雷くあしきた云

○ 雷のこゝろやあつらんふおひんくまこゝろをいし
○ 雷のあまをいし 雷く名前と二句し 雷く
物と句 仍れ 雷のあまをいし 雷く地のこと

▲ 雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く
雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く

▲ 雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く
雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く

▲ 雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く
雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く

▲ 雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く
雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く

▲ 雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く
雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く

▲ 雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く
雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く

▲ 雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く
雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く

▲ 雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く
雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く

▲ 雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く
雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く

▲ 雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く
雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く

▲ 雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く
雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く

▲ 雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く
雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く

▲ 雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く
雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く

▲ 雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く
雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く

▲ 雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く
雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く

▲ 雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く
雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く

▲ 雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く
雷乃と云 雷のこゝろをいし 雷く

△そごりて ところなるのうくの心を

先づのあつどし。そが坐とまのうり知し

幸とまのうりくくる。むゆし又そごり

△そごりあまり ぬるうり。眼の細し

又いあつあまり。天海をみる。あまごふ

ありあつあまのうり。眼の細し。あまごふ

情物に二句。又時ぬ。あまごふ。あまごふ

れ。あまごふ。あまごふ。あまごふ。あまごふ

△ぞと云 湯りのあまごふ。あまごふ

△そごりあまごふ。何まごふ。あまごふ

△そごりあまごふ。あまごふ。あまごふ

△そごりあまごふ。あまごふ。あまごふ

とあまごふ。あまごふ。あまごふ

△あまごふ。あまごふ。あまごふ

△あまごふ。あまごふ。あまごふ

△あまごふ。あまごふ。あまごふ

△あまごふ。あまごふ。あまごふ

△あまごふ。あまごふ。あまごふ

△あまごふ。あまごふ。あまごふ

△あまごふ。あまごふ。あまごふ

△あまごふ。あまごふ。あまごふ

△あまごふ。あまごふ。あまごふ

△あまごふ。あまごふ。あまごふ

△あまごふ。あまごふ。あまごふ

△あまごふ。あまごふ。あまごふ

△あまごふ。あまごふ。あまごふ

△あまごふ。あまごふ。あまごふ

△あまごふ。あまごふ。あまごふ

△あまごふ。あまごふ。あまごふ

△あまごふ。あまごふ。あまごふ

○吳軒乃し入りたるの日の事也 と云ふ

△園 ○主大なるをけむりなり 宗古
只一層ありて上りしと云はれたる

△園 ○吳軒の園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

△園 ○園生をてて居所也
此は其の園生に二句ありて

鹿雲のこゝろ二句ほし 胸此より
あひ乃騰あひ乃降也 亦然極
吳中二句ほし

○津

▲逃雁乃來 十二月晦日 詠

▲葉地 屋前二句のちし

▲地葉乃葉 行し月多し

▲ほのまの 續秋し 松の目

▲終ふと云羽 ちやまづたし 極佳

吳中二句と云

▲終ふ乃乃 云常し

▲燕 一し 喜し 葉も同じ 葉と云の

秋し物も秋し 吳中二句のちし

▲翅 二 鳥羽田 鳥羽山 二句し 極佳

▲花 花と結て 喜し 只の難し

▲枝 枝乃志げ 極し

▲橋市 大和國の石

▲雀乃碑 奥列 雀と云ふ 雀の石

有日本武皇日中 雀の石

女中 付けし 大徳 雀の石

つれなれ 雀の石

雀の石

雀の石

雀の石

雀の石

雀の石

雀の石

雀の石

雀の石

雀の石

雀の石

雀の石

雀の石

雀の石

雀の石

雀の石

雀の石

雀の石

雀の石

雀の石

△使方一 色 使方入 色 使方入 色 使方入 色

△使方 舟 使方 舟 使方 舟 使方 舟

△使方 舟 使方 舟 使方 舟 使方 舟

△使方 舟 使方 舟 使方 舟 使方 舟

△使方 舟 使方 舟 使方 舟 使方 舟

△使方 舟 使方 舟 使方 舟 使方 舟

△使方 舟 使方 舟 使方 舟 使方 舟

△使方 舟 使方 舟 使方 舟 使方 舟

△使方 舟 使方 舟 使方 舟 使方 舟

△使方 舟 使方 舟 使方 舟 使方 舟

△使方 舟 使方 舟 使方 舟 使方 舟

△使方 舟 使方 舟 使方 舟 使方 舟

△包 色 包 色 包 色 包 色

△包 色 包 色 包 色 包 色

△包 色 包 色 包 色 包 色

△包 色 包 色 包 色 包 色

△包 色 包 色 包 色 包 色

△包 色 包 色 包 色 包 色

△包 色 包 色 包 色 包 色

△包 色 包 色 包 色 包 色

△包 色 包 色 包 色 包 色

△包 色 包 色 包 色 包 色

△包 色 包 色 包 色 包 色

△包 色 包 色 包 色 包 色

△包 色 包 色 包 色 包 色

△流るる頰 田つら海つら川つら三

△頰杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

△流るる杖 杖つら杖

新乃素乃... 新乃つま
新乃素乃... 新乃つま
新乃素乃... 新乃つま

▲素乃... 別乃...
▲素乃... 別乃...

▲新乃... 本...
▲新乃... 本...

▲新乃... 本...
▲新乃... 本...

▲新乃... 本...
▲新乃... 本...

▲新乃... 本...
▲新乃... 本...

▲新乃... 本...
▲新乃... 本...

▲新乃... 本...
▲新乃... 本...

▲新乃... 本...
▲新乃... 本...

另三... 以上...
... 以上...
... 以上...

▲月... 日...
▲月... 日...

▲月ニまはみけのわと結て地和分ニ
▲月ニ夜更義縁生なりも地和分ニ
▲月ニ夜更義縁生なりも地和分ニ
▲月ニ夜更義縁生なりも地和分ニ
▲月ニ夜更義縁生なりも地和分ニ
▲月ニ夜更義縁生なりも地和分ニ
▲月ニ夜更義縁生なりも地和分ニ
▲月ニ夜更義縁生なりも地和分ニ
▲月ニ夜更義縁生なりも地和分ニ
▲月ニ夜更義縁生なりも地和分ニ

▲月乃さす、門さす、おく、入候し
▲月乃らり、なま、日乃らり、なま
▲月乃らり、なま、日乃らり、なま
▲月乃らり、なま、日乃らり、なま
▲月乃らり、なま、日乃らり、なま
▲月乃らり、なま、日乃らり、なま
▲月乃らり、なま、日乃らり、なま
▲月乃らり、なま、日乃らり、なま
▲月乃らり、なま、日乃らり、なま
▲月乃らり、なま、日乃らり、なま

雑紙

あどきともまじり白体ニクベ

△月乃初 於三乃初より一。月乃一

ます初とまじり。帝朝九重其初ニカ

あくと付りし。又初ニ月乃初ハ月乃

あ乃る初がら圓なる初小五初てを

白なれハ初とハ肉しとまじり。初乃ハ

△月乃初の花 只初の花も初し。初乃

初乃初。又初ニ。初種初ハ。初二百ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

△月乃初 初ハ。初初ハ。初初ハ。初初ハ

ハ知トヨリ得テ後旬也ト云ハ他ハ
小徳ト云フ

▲月代 經ノ字付白紙ト云

▲月代 細代 前代ナリ

▲月ト目 天ノ川ト云乃ハ知リテ
佳シ名亦乃天ノ川ト云

▲月 經ノ字付白紙ト云

經ト月 入道ト云月 日ト云月

三月月乃云 又月 經ト云 皆經ト云

。月ト經乃ト云云云云

。月ト經乃ト云云云云

▲月ト云云 経 經ト云

▲月の限 經ト云乃月ト云云云

▲月讀乃経 名経ト云云云

月経乃由經依作經乃外云乃由中

又云經乃由生大乃経 是月讀乃

中云云 天照乃経乃由云云

。あつては林と夜ふやと云云

。袖ふれ乃乃月ト云

▲月原 經ト云ト云 鴨ト云

書ト云乃字ト云云 經ト云乃ト云

月原ト云ト云云 經ト云乃ト云

。天ノ月ト云乃乃の經ト云云

▲築山 山ト云ト云 山ト云ト云

▲築ト云 木乃經ト云ト云

▲築乃云云 源乃經ト云ト云

。又云云ト云云 經ト云乃ト云

。あれハト云云

▲高乃経云 高ト云ト云

▲高乃云云 高ト云ト云

▲高乃云云 高ト云ト云

▲高乃云云 高ト云ト云

▲高乃云云 高ト云ト云

▲高乃云云 高ト云ト云

▲高乃云云 高ト云ト云

多は樹あり人乃園も又句はく

▲麻 卅二句し 楳杓あり其外

▲麻 伏ありと楳し 又中とれも二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句



▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲麻 二句 卅二句 卅二句 卅二句

▲ありこありん かな 付句あり

▲ありんありそし ありありなる目

西しありんこありしも西し

▲ありんとありんハ折燈 ありんありん

▲あれやあり二ありありあり

ありありありありありありあり

▲あれあり ありありありあり

▲ありありありありありありあり

▲ありありありありありありあり

▲ありありありありありありあり

▲ありありありありありありあり

▲ありありありありありありあり

▲ありありありありありありあり

▲ありありありありありありあり

▲ありありありありありありあり

▲ありこありん かな 付句あり

▲ありんありそし ありありなる目

西しありんこありしも西し

▲ありんとありんハ折燈 ありんありん

▲あれやあり二ありありあり

ありありありありありありあり

▲あれあり ありありありあり

▲ありありありありありありあり

▲ありありありありありありあり

▲ありありありありありありあり

▲ありありありありありありあり

▲ありありありありありありあり

▲ありありありありありありあり

▲ありありありありありありあり

▲ありありありありありありあり

▲ありありありありありありあり

▲ありありありありありありあり

▲**訓** 二句し又物ありき

▲**訓** 夜

▲**訓** 子

▲**訓** 子

▲**訓** 子

▲**訓** 子

▲**訓** 子

▲**訓** 子

▲**訓** 子

▲**訓** 子

▲**訓** 子

▲**訓** 子

▲**訓** 子

▲**訓** 子

▲**訓** 子

▲**訓** 子

▲**訓** 子

▲**訓** 子

夜に二句し又物ありき

夜に二句し又物ありき

夜に二句し又物ありき

夜に二句し又物ありき

夜に二句し又物ありき

夜に二句し又物ありき

夜に二句し又物ありき

夜に二句し又物ありき

夜に二句し又物ありき

夜に二句し又物ありき

夜に二句し又物ありき

夜に二句し又物ありき

夜に二句し又物ありき

夜に二句し又物ありき

夜に二句し又物ありき

夜に二句し又物ありき

夜に二句し又物ありき

夜に二句し又物ありき

▲**中** 中

▲**中** 中

▲**中** 中

▲**中** 中

▲**中** 中

▲**中** 中

▲**中** 中

▲**中** 中

▲**中** 中

▲**中** 中

▲**中** 中

▲**中** 中

▲**中** 中

▲**中** 中

▲**中** 中

▲**中** 中

▲**中** 中

▲**中** 中

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

▲中系 ^{十カミ} 急乃中系 ^{十カミ} 凡中系 ^{十カミ}

中急乃中系 ^{十カミ} 急乃中系 ^{十カミ} 凡中系 ^{十カミ}

▲中川 急乃中系 ^{十カミ} 凡中系 ^{十カミ}

▲中橋 急乃中系 ^{十カミ} 凡中系 ^{十カミ}

▲急乃中系 ^{十カミ} 凡中系 ^{十カミ}

▲急乃中系 ^{十カミ} 凡中系 ^{十カミ}

▲急乃中系 ^{十カミ} 凡中系 ^{十カミ}

▲急乃中系 ^{十カミ} 凡中系 ^{十カミ}

▲急乃中系 ^{十カミ} 凡中系 ^{十カミ}

▲急乃中系 ^{十カミ} 凡中系 ^{十カミ}

▲急乃中系 ^{十カミ} 凡中系 ^{十カミ}

▲急乃中系 ^{十カミ} 凡中系 ^{十カミ}

▲急乃中系 ^{十カミ} 凡中系 ^{十カミ}

▲急乃中系 ^{十カミ} 凡中系 ^{十カミ}

二の布おも二白とて 日又も秋の序

▲秋不熱 秋は中何れもあらず 秋は中何れもあらず 秋は中何れもあらず

▲急紙乃後 急紙は後 急紙は後 急紙は後 急紙は後

▲赤たも乃実 赤たも乃実 赤たも乃実 赤たも乃実 赤たも乃実

▲あまそし あまそし あまそし あまそし あまそし

▲あまそし あまそし あまそし あまそし あまそし

▲あまそし あまそし あまそし あまそし あまそし

▲あまそし あまそし あまそし あまそし あまそし

▲あまそし あまそし あまそし あまそし あまそし

▲あまそし あまそし あまそし あまそし あまそし

▲あまそし あまそし あまそし あまそし あまそし

▲あまそし あまそし あまそし あまそし あまそし

▲あまそし あまそし あまそし あまそし あまそし

▲あまそし あまそし あまそし あまそし あまそし

▲あまそし あまそし あまそし あまそし あまそし

波乃夜 唯香紙の波激

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

△五 の字 ありあもまま

西苑しきし植ゆし 其か二枝乃由
くまろ一は只花あはるくはを地

ゆく難し 西苑植ゆ 此も花乃
源乃花西苑し 是花の取らゆき

▲源乃書 植物し多色こるし 植物
あり多支方二短し あり多支方混

入より多支方二短し あり多支方混
りし 一書ニ 植物 標 換 標 此

一換 當時所 用 如 此 兩方 可
保 念 之 物 標 不 可 混 念 之

物 不 標 之 乎 混 念 之 方 之 乎
本 書 乃 故 不 標 之 乎 之 乎 之 乎 之 乎

▲源乃書 植物し多色こるし 植物
あり多支方二短し あり多支方混

▲源乃書 植物し多色こるし 植物
あり多支方二短し あり多支方混

▲源乃書 植物し多色こるし 植物
あり多支方二短し あり多支方混

▲源乃書 植物し多色こるし 植物
あり多支方二短し あり多支方混

▲源乃書 植物し多色こるし 植物
あり多支方二短し あり多支方混

▲源乃書 植物し多色こるし 植物
あり多支方二短し あり多支方混

▲源乃書 植物し多色こるし 植物
あり多支方二短し あり多支方混

▲源乃書 植物し多色こるし 植物
あり多支方二短し あり多支方混

▲源乃書 植物し多色こるし 植物
あり多支方二短し あり多支方混

▲源乃書 植物し多色こるし 植物
あり多支方二短し あり多支方混

▲源乃書 植物し多色こるし 植物
あり多支方二短し あり多支方混

▲洞 七句まし 八乃法二句し 吉虫の
、鳴らば庭 竹 かねも竹くわく 二句短し
。 是入と 其乃 源乃 流乃 流乃 二句短し
小乃し 衣傷し 其かニ 洞 悉く
あくも 七句まし 一書ニ

▲洞 七句まし 八乃法二句し 吉虫の
、鳴らば庭 竹 かねも竹くわく 二句短し
。 是入と 其乃 源乃 流乃 流乃 二句短し
小乃し 衣傷し 其かニ 洞 悉く
あくも 七句まし 一書ニ

△洞きこやう 懸がどらんとく

○管束乃花乃らとあるよはやくとくをさすは

△糸 糸乃らあつがましとくはく

只の難し。又かこ只の糸はもさく

糸し糸も糸も月のみれはあり

大くの只もまふかともあり

△糸 糸し 糸物し 糸中ニ糸

と括られらる 糸乃由し 相糸は

古へ糸 糸乃又奇仙と云の後根集

乃他とあり

○古糸の糸も糸と糸と糸も

△糸 糸乃一括糸ニ一ツと

糸引の糸し引の二句し糸は

糸のく糸乃糸引の糸し

糸乃糸し一まつ糸も糸は

唐衣才三終

